



# ダッシュボード

---

- [概要 \(1 ページ\)](#)
- [ダッシュボードのアクション \(2 ページ\)](#)
- [ダッシュボードへのウィジェットの追加 \(6 ページ\)](#)
- [ダッシュボードからレポートを実行する \(9 ページ\)](#)

## 概要

Cisco Unified Intelligence Center のダッシュボードは、統合された1つのビューでレポート、Web ページ (URL)、Web ウィジェット、注記を追加できるインターフェイスです。

ダッシュボードインターフェイスでのすべてのアクションは、ダッシュボードとフォルダに対するロールとユーザ権限に基づきます。

### ダッシュボードへのアクセス

左側のナビゲーション ウィンドウで **[ダッシュボード (Dashboards)]** をクリックすると、使用可能なすべてのダッシュボードのリストが表示されます。このリストには、作成したダッシュボードと、あなたがビュー パーミッションを持つ他のユーザーが作成したダッシュボードが含まれます。



- 
- (注)
- ダッシュボードを作成するには**ダッシュボード作成者**のロールを割り当てられている必要があります。
  - 他のユーザが作成したダッシュボードを表示するには、ダッシュボードとその親フォルダに対する**表示**アクセス許可が必要です。
  - Cisco Unified Intelligence Center ではデフォルトのダッシュボードは提供されていません。
-

### ダッシュボードの実行

ダッシュボードを実行するには、ダッシュボードの名前をクリックします。ダッシュボードが実行モードになっている場合、ツールバーを使用して以下の操作を行います。

- ダッシュボードを編集します。
- ダッシュボードを更新します。
- ダッシュボードビューを最大化します。

Esc を押すと、元のビューに戻ります。

### アップグレードする前に

Cisco Unified Intelligence Center はダッシュボードごとに最大 10 のウィジェットをサポートします。15 個のウィジェットがあるダッシュボードを考えてみましょう。[名前を付けて保存 (Save As)] 機能を使用してダッシュボードを複製し、ダッシュボードごとに最大 10 個のウィジェットを管理します。

### サポートされていないウィジェット

ダッシュボード用 Cisco Unified Intelligence Center インターフェイスでは、次のウィジェットがサポートされていません。

- レポートのスケジュール設定 ウィジェット
- ダッシュボードのパーマリンクを含む URL ウィジェット (Nested Dashboard)

### 移行制限

インジェクションの脆弱性に対処するために、ダッシュボードのカスタムウィジェット機能はデフォルトで無効になっています。

カスタムウィジェット機能を有効にするには、CLI **set cuic properties dashboard-customwidget-enabled** を使用して、パラメータを「on」に設定します。詳細については、『Cisco Unified Intelligence Center 管理コンソールユーザガイド』

([https://www.cisco.com/c/ja\\_jp/support/customer-collaboration/unified-intelligence-center/products-maintenance-guides-list.html](https://www.cisco.com/c/ja_jp/support/customer-collaboration/unified-intelligence-center/products-maintenance-guides-list.html)) を参照してください。

## ダッシュボードのアクション

ダッシュボードから実行できる各種アクションを次の表に示します。



---

(注) 一度に最大 10 個のタブを開くことができます。

---

表 1:ダッシュボードのアクション

アクション	説明
ダッシュボードレベルのアクション	
新規	
ダッシュボード	<p>新しいダッシュボードを作成します。</p> <p>[新規ダッシュボード (New Dashboard) ]ウィザードで、次の操作を実行できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ダッシュボードのプロパティとして、名前と説明を指定する。</li> <li>ダッシュボードにウィジェットを追加する。</li> </ul> <p>詳細については、「ダッシュボードへのウィジェットの追加」の項を参照してください。</p>
フォルダ	<p>新規フォルダを作成します。この機能を使用してダッシュボードを分類します。</p> <p>(注) フォルダを別の場所に移動または保存すると、ドロップダウンのリストにすべてのフォルダが表示されます。アクセスできるフォルダは、<b>編集</b>アクセス許可を持っているフォルダだけです。</p>
ツールバーのアクション	
更新	[ダッシュボード (Dashboards) ] ページを更新します。
お気に入り	<p>ダッシュボードに簡単にアクセスできるように、ダッシュボードを[お気に入り (Favorites) ]に設定できます。</p> <p>[お気に入り (Favorites) ]に追加するダッシュボードの名前の横にある星形のアイコンをクリックします。</p>
検索	特定のダッシュボードを検索します。
省略記号 (...) のアクション	

アクション	説明
編集	<p>ダッシュボードの詳細を編集します。編集モードでは次の操作を実行できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ウィジェットを追加、削除、変更する。</li> <li>• ダッシュボードの名前の横にあるアイコンをクリックして、ダッシュボードのプロパティとして、名前と説明を編集する。</li> </ul> <p>ダッシュボードの編集が終わったら [保存 (Save) ] をクリックします。</p>
名前を付けて保存	ダッシュボードのコピーを保存します。
名前の変更	ダッシュボードまたはフォルダの名前を変更します。
移動	<p>ダッシュボードまたはフォルダを別のフォルダに移動します。</p> <p>(注)     ダッシュボードやフォルダを移動できるのは、移動するダッシュボードまたはフォルダの親フォルダに対して<b>編集</b>アクセス許可を持っている場合だけです。</p>
削除	<p>ダッシュボードまたはフォルダを削除します。</p> <p>(注)     ダッシュボードやフォルダを削除できるのは、削除するダッシュボードまたはフォルダの親フォルダに対して<b>編集</b>アクセス許可を持っている場合だけです。</p>

アクション	説明
アクセス許可	<p>ダッシュボードにアクセスして管理するための適切な権限を割り当てます。</p> <p><b>グループ</b>：ダッシュボードの<b>表示</b>および<b>編集</b>権限をさまざまなグループに付与します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• セキュリティ管理者は、さまざまなグループにこれらの権限を付与できます。</li> <li>• エンティティの所有者は、直接関連付けられているグループにこれらの権限を付与できます。</li> </ul> <p><b>ユーザ</b>：ダッシュボードの<b>表示</b>および<b>編集</b>権限をさまざまなユーザに付与します。セキュリティ管理者にのみ適用されます。</p> <p>(注)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 個々のユーザまたはユーザグループのより高い権限（表示および編集）が優先されます。</li> <li>• 最初の 200 レコード（アルファベット順）のみが <b>[メンバー (Members)]</b> または <b>[グループ (Groups)]</b> パネルに表示されます。さらに多くのレコードを表示するには、<b>[設定 (Configure)] &gt; [グループ (Groups)]</b> を参照してください。</li> <li>• 権限を変更し、<b>[グループ (Groups)]</b> タブと <b>[ユーザ (Users)]</b> タブを切り替える場合は、変更を保存するか破棄するかを選択するように求められます。</li> </ul>
パーマリンク	<p>ダッシュボードのパーマリンクを表示します。</p> <p>(注)</p> <p>固定ハイパーリンクには Web ブラウザからのみアクセスできます。Microsoft Excel などのアプリケーションからパーマリンクにアクセスしてデータをプルしたりダッシュボードを表示したりすることはできません。</p> <p>詳細については、「<a href="#">ダッシュボードのパーマリンク</a>」を参照してください。</p>

#### 関連トピック

[ダッシュボードへのウィジェットの追加](#) (6 ページ)

## ダッシュボードのパーマリンク

## ダッシュボードへのウィジェットの追加

レポート、Web ページ、メモ、およびカスタム ウィジェットをダッシュボードに追加できます。また、ニーズに合うようにウィジェットのサイズや位置を変更することができます。デフォルトのウィジェットのサイズはダッシュボードキャンバスの使用可能なスペースによって異なります。



(注) ダッシュボードごとに最大 10 個のウィジェットを追加できます。

ダッシュボードにウィジェットを追加するには、次の手順を実行します。

### 手順

- ステップ 1 左側のナビゲーション ウィンドウで、[ダッシュボード (Dashboards)] をクリックします。
- ステップ 2 [ダッシュボード (Dashboards)] タブをクリックします。
  - 新しいダッシュボードにウィジェットを追加するには、[新規 (New)] > [ダッシュボード (Dashboard)] をクリックします。
  - 既存のダッシュボードにウィジェットを追加するには、必須ダッシュボードの横にある [... (省略記号)] アイコンをクリックし、[編集 (Edit)] をクリックします。
- ステップ 3 ダッシュボード キャンバスで、[+ (プラス)] アイコンをクリックします。
- ステップ 4 [ウィジェットの追加 (Add Widgets)] ダイアログボックスで、必須ウィジェットを追加するには、次の手順を実行します。

ウィジェットタイプ	手順
レポート ビュー	<p>ダッシュボードに既存のレポートを表示します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li data-bbox="768 352 1516 426">1. [レポート ビュー (Report View)] アイコンをクリックします。</li> <li data-bbox="768 447 1516 552">2. [レポートビューの追加 (Add Report View)] ダイアログボックスで、対応するドロップダウンリストから [レポート (Report)] と [ビュー (Views)] を選択します。</li> <li data-bbox="768 573 1516 604">3. [完了 (Done)] をクリックします。</li> </ol> <p>(注)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="938 636 1516 783">• レポートウィジェットでは、ウィジェットヘッダーにあるアイコンをクリックすると、既存のフィルタ情報の表示、フィルタの管理、レポート実行の再生または一時停止を行えます。</li> <li data-bbox="938 804 1516 951">• [フィルタの管理 (Manage filters)] アイコンと [フィルタの表示 (View filter)] アイコンは、レポートウィジェットにカーソルを合わせたときのみ表示されます。</li> <li data-bbox="938 972 1516 1077">• グリッドビュー レポートでは、レポートデータのフォントサイズを拡大または縮小できます。</li> <li data-bbox="938 1098 1516 1203">• 編集モードでは、レポートウィジェットのヘッダーから省略記号アイコンを使用してフィルタにアクセスし、フィルタ基準を変更できます。</li> <li data-bbox="938 1224 1516 1287">• ドリルダウンレポートはサポートされていません。</li> </ul>
注	<p>ダッシュボードに注釈を追加します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li data-bbox="768 1409 1516 1440">1. [メモ (Note)] アイコンをクリックします。</li> <li data-bbox="768 1461 1516 1566">2. [メモの追加 (Add a Note)] ダイアログボックスで、[メモのタイトル (Note Title)] と [メモの本文 (Note Body)] に入力します。</li> <li data-bbox="768 1587 1516 1619">3. [完了 (Done)] をクリックします。</li> </ol>

ウィジェットタイプ	手順
Web ページ	<p>ダッシュボードに Web ページが表示されます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ウェブページアイコンをクリックします。</li> <li>2. [Web ページの追加 (Add a Web page) ] ダイアログボックスで、ダッシュボードに表示する Web ページのアドレスである <b>Web の URL</b> を入力します。</li> <li>3. [完了 (Done) ] をクリックします。</li> </ol> <p><b>Web ページ ウィジェットの制限事項 :</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「Xフレームオプション」により有効になっている Web サイトはダッシュボードに表示されません。</li> <li>• プロトコル (HTTPS) のプレフィックスを付けずに提供される Web URL は、デフォルトで Cisco Unified Intelligence Center アプリケーションのプロトコルを使用します。</li> <li>• Cisco Unified Intelligence Center が HTTPS モードの場合は、HTTP ベースのウィジェットの URL をダッシュボードで設定できません。</li> <li>• ダッシュボードのパーマリンクを Web ページウィジェットとして追加することはできません。</li> </ul> <p>ダッシュボードに Web ページウィジェットとしてレポートのパーマリンクを表示する方法については、「ダッシュボードでのレポートのパーマリンクの表示」を参照してください。</p>



ウィジェットタイプ	手順
カスタム ウィジェット	<p>ダッシュボードにカスタム ウィジェットを追加します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. [カスタム ウィジェット (Custom Widget) ]アイコンをクリックします。</li> <li>2. [カスタム ウィジェットの追加 (Add Custom Widget) ]ダイアログボックスで[ウィジェットのタイトル (Widget Title) ]と[コードスニペット (Code Snippet) ]に入力します。 <p>(注) [コードスニペット (Code Snippet) ]ボックスには、ダッシュボードに表示するウィジェットのマークアップ/コードスニペットを入力できます。たとえば、HTML、XML RSS フィード、JavaScript などを入力できます。</p> <p>最大文字数： 1000 文字。</p> </li> <li>3. [完了 (Done) ]をクリックします。組み込みコードがダッシュボードに表示されます。</li> </ol> <p>デフォルトでは、このウィジェットの種類は無効になっています。CLI <code>set cuic properties dashboard-customwidget-enabled on</code> を使用して、カスタムウィジェット機能を有効にすることができます。</p> <p>詳細については、『Cisco Unified Intelligence Center 管理コンソール ユーザガイド』  <a href="https://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/unified-intelligence-center/products-migration-skf.html">https://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/unified-intelligence-center/products-migration-skf.html</a> を参照してください。</p>

ステップ 5 [保存 (Save) ]をクリックします。

#### 関連トピック

[ダッシュボードのパーマリンクの表示](#)

## ダッシュボードからレポートを実行する

ダッシュボードからのレポートの実行は、レポートフィルタの選択時の [レポートの実行中にフィルタをスキップする (Skip filter during the report execution) ] チェックボックスに依存します。

- このチェックボックスがオンになっているレポートの場合、システムは、フィルタをバイパスし、デフォルト フィルタを使用してそのレポートを実行します。

- このチェックボックスがオフになっているレポートの場合、最初のアクセス時に、そのレポートを実行するための**フィルタ**を選択するプロンプトが表示されます。



- (注)
- **[レポートの実行中にフィルタをスキップする (Skip filter during the report execution)]** チェックボックスは、すべてのストックレポートでオフになっています。ダッシュボードレポートを初めて使用するときフィルタの選択が要求されないようにするには、新しいレポートを作成し、デフォルトのフィルタを設定して、**[レポートの実行中にフィルタをスキップする (Skip filter during the report execution)]** チェックボックスをオンにします。
  - **フィルタ**のプロンプトには、レポートビューのタイプ（グリッド、グラフ、円グラフなど）を表す該当のアイコンが表示されます。
  - どちらのシナリオでも、**Report** ウィジェットのヘッダーの省略記号アイコンから**フィルタ**にアクセスしてフィルタ条件を編集することができます。

[フィルタ (Filter)] ボタンをクリックすると、次の検証に基づいて、[フィルタ データ (Filter Data)] ダイアログ ボックスにフィルタ条件が表示されます。

- 選択したレポートクエリーのタイプに基づいてフィルタ条件画面を表示する。
- そのレポートにデフォルト フィルタが設定されている場合は、デフォルト フィルタ条件を入力する。

### フィルタ データの編集

次の2つの方法で、ダッシュボードからレポート フィルタ データを編集できます。

- **実行モード**：レポート ウィジェットのヘッダーのフィルタ アイコンをクリックします。
- **編集モード**：省略記号アイコンをクリックし、使用可能なメニュー オプションから [フィルタ (Filter)] を選択します。

必要なフィルタ基準を修正し、[実行 (Run)] をクリックします。修正したフィルタ条件を反映してレポートが更新されます。



- (注) 作成、編集、実行モードになっているときにダッシュボードのレポートフィルタを編集すると、フィルタの設定はブラウザのキャッシュに保存されます。この設定は、個々のユーザ固有のものとなります。したがって、次回サインインしてダッシュボードを実行するときに、レポートウィジェットは、ブラウザのキャッシュに保存されているフィルタ情報を使用してレポートを生成します（フィルタ条件を更新するプロンプトは表示されません）。ブラウザのキャッシュは最大 30 日間保持されます。

レポートを実行するたびに、ブラウザのキャッシュ内のフィルタデータの権限が検証されます。権限の不一致があると、以前選択したフィルタが無効になったので再度フィルタを選択するよう促すエラーメッセージが表示されます。

また、他のユーザが同じブラウザにサインインしていても、自分のフィルタ設定はそのユーザには見えていません。

ブラウザのキャッシュに保存されているフィルタ設定は、次の条件に当てはまる場合のみ消去されます。

- 過去 30 日間ダッシュボードを使用していない。
- 手動でキャッシュを消去した。

レポートフィルタの詳細については、「レポートフィルタ」の項を参照してください。

#### 関連トピック

[レポートフィルタ](#)



## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。